

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【生活単元学習】

1. 対象（実施を想定する児童の実態の概要）

知的障害 小学部6年生 Aグループ 8人

自分の経験したことを思い出して自分の考えや知っていることを言うことができる。昨年度の調べ学習では、地域の店や施設について調べた。教師が「これって何だろう」ときっかけとなる言葉掛けをすることで、服装や道具、仕事の内容などに興味を持ったり、何に使う道具かなどと疑問に思ったりすることができた。また、本の1ページの中から簡単な情報（写真や短い文）を読み取ったり、実際に見学に行ってみたり、質問をしたりすることで、気になったことや知りたいことについて知ることもできた。写真を見つけてから文字をゆっくり読むことで、情報を得ることができる。平仮名であれば文を読み取ることができる児童6人と、一部なら読めるが人に読み上げてもらうことで分かる児童2人がいる。やり方が分かることで進んで取り組むことができ、必要な情報を自分たちで見つけて答えが分かることを楽しんで取り組むことができる。

今年度は、小学部のリーダーとして1年生を迎える会や運動会の準備に取り組んできている。必要な物などを考えて意見を出し合い、よりよいものをみんなで選択することもできた。

10月に修学旅行で名古屋（名古屋港水族館、レゴランド）に行く。

2. 単元名「みんなで見よう食べよう遊ぼう！修学旅行に行こう！」（3～7時間目/全21時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

（全体）修学旅行の日程や行き先が分かり、目的地で見てくることや食べる物などについて自分たちで調べたり、選んだりすることで、友達や教師と一緒に行くことを楽しみにすることができる。

（グループの目標）

知識及び技能	・修学旅行の日程や行き先が分かり、自分が見たい物や気になることについて本（紙面の資料）やインターネットで調べることができる。
思考力、判断力、表現力等	・調べて分かったことを友達に伝えたり、友達の話を聞いて知ったりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	・修学旅行の行き先に何があるのかに興味を持ち、自分から調べたり、考えを言ったりすることができる。

4. 本時の目標

省略

5. 授業展開【 単元 】

解決したい課題や問い

- ・名古屋港水族館に行くから「水族館の生き物博士」になろう。
- ・どんな生き物があるんだろう。
- ・一番〇〇（大きい、小さい、長い、多い）な生き物を見つけよう。←主な課題にはしない

考えるための材料				
水族館の館内図 (主な生き物を まとめたもの)	「生き物」について書いていくワークシート	本、必要な情報を写真やイラストと平仮名でまとめた資料、インターネット	iPad (写真、動画)	巻き尺 模造紙
想定される活動				
<ul style="list-style-type: none"> 何がいるかを知る。 まだ調べていない生き物を調べようと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真を選ぶ。 どうやって調べたら分かるか考える。(本、インターネット) 項目に合わせて、答えを資料から見つけようとする。(大きさ、色、分かったこと) 調べて分かったことを書く。 メモを見ながら分かったことを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> どこに探している生き物や知りたい内容が載っているか探す。 見つけた場所を友達に伝える、聞く。 必要な情報を読み取る。 5mってどれくらい？と疑問をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きさや数、動きなどに気付いて発言する。 文字情報で知ったことを映像で確認する。 本を拡大して写真に撮り、マーカーやふりがなをつけて提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを実際の大きさや数で表現して、体感する。 友達にも伝える。

対話と思考 (対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)
<p><方法></p> <ul style="list-style-type: none"> 一人で取り組む。 自分で決めた生き物を毎時間調べる。同じ生き物を調べている友達がいるときは、お互いの気付きを共有できるように教師が言葉掛けをする。 ワークシートの項目に沿って調べていく。 教師は、児童の良い発言を他の友達とも共有できるように言葉掛けをしたり、解決方法を思い付けるようなヒントを出したりする。「どこに載ってた?」「どんな魚だった?」など <p><対話・思考のプロセス></p> <ul style="list-style-type: none"> 何を調べたら分かるだろう?本?インターネット?パンフレットに書いてある?→見てみよう 「色はこれを見れば分かるよ。」「大きさはここに書いてあるよ。」「これが分からないな。」など自分が見て気付いたことを友達や教師に伝え、みんなで一緒に確認する。「本当だ。」「こっちにも書いてあるよ。」「この資料が一番分かりやすいな。」 ワークシートの項目に合わせて「これは〇〇だったね。」と言いながら書き込む。友達が書いているのを参考にして書く。 「5メートルって書いてあるけど、どれくらいなんだろう。」など調べたこと(文字情報)が実際どういうことか考える。→長さを測ったり、数を数えたりして視覚的に分かる。「こんなに!」「僕より大きい」

学習の成果 (予想される生徒のあらわれ)
<ul style="list-style-type: none"> 本などに書いてある文字を読み取ろうとする。「ここ何て書いてある?」「これは『イワシ』だって。」 他の生き物のことも知りたいと思う。 調べたことを、別のグループの友達や教師にも教えようとする。 友達が調べたことを聞いて、興味をもつ。 「修学旅行で本物を見てきたい。」と言う。